

資料3-18 三重県における赤潮発生状況（令和3年1月～令和3年12月）

整理番号	発生時期(月日)	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積(km ²)	発生水深(m)	最高細胞数(細胞/ml)	漁業被害	情報源
1	8.10-8.12	志摩度会(英虞湾)	<i>Karenia mikimotoi</i>	8.10に英虞湾で <i>K. mikimotoi</i> 赤潮が発生した。8.11まで持続し、8.12の観測では解消していた。最高細胞数は420細胞/ml(8.11、和具、5m)であった。	不明	3-10m	420	無	三重県水産研究所
2	8.12-8.18	志摩度会(的矢湾)	<i>Karenia mikimotoi</i>	8.12に的矢湾で <i>K. mikimotoi</i> 赤潮が発生した。8.18の観測では解消していた。最高細胞数は7,660細胞/ml(8.12、的矢(ピン玉漁場)、0.5m)であった。	不明	0-5m	7,660	無	漁業者、三重県水産研究所
3	8.12-8.26	志摩度会(鳥羽湾)	<i>Karenia mikimotoi</i>	8.12に鳥羽湾で <i>K. mikimotoi</i> 赤潮が発生した。8.17まで持続し、8.26の観測では解消していた。最高細胞数は18,000細胞/ml(8.13、小浜(漁港内)、表層)であった。	不明	0-5m	18,000	無	鳥羽市水産研究所、三重県水産研究所
4	8.16-8.23	志摩度会(阿曾浦)	<i>Karenia mikimotoi</i>	8.16に阿曾浦で <i>K. mikimotoi</i> 赤潮が発生した。8.23の観測では解消していた。最高細胞数は120細胞/ml(8.16、毛無、3m)であった。	不明	3-5m	120	無	南伊勢町南島種苗センター

【注】

- (1)「整理番号」は、発生時期の順に一連番号を記載した。
- (2) 2あるいは3海域にまたがって発生した場合は、各海域のそれぞれに発生したものとして扱った。従って、例えば2つの海域にまたがって発生した場合は、1つの発生に対して2つの整理番号を与え、発生件数は2件とカウントした。
- (3)「発生時期」は、発生が確認された日から消滅日までを記載することを基本としたが、同一海域で発生、消滅(一時的な細胞数の減少)を繰り返したものについては、最初の発生から最後の発生まで(完全な赤潮の終息まで)を1単位として記載した。